

休眠預金新型コロナウイルス対応緊急支援助成
NPOが新しい活用様式を生み出す事業
公益社団法人日本サードセクター経営者協会

感染対策研修会

医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック
大橋 博樹

Profile

- 2000年獨協医科大学卒業
- 武蔵野赤十字病院で初期研修の後、聖マリアンナ医科大学総合診療内科に入局
- 筑波大学附属病院総合診療科、亀田総合病院家庭医診療科で研修
- 2006年4月より川崎市立多摩病院総合診療科医長
- 2010年4月多摩ファミリークリニックを開業
- 東京医科歯科大学臨床准教授
- 聖マリアンナ医科大学非常勤講師

感染症対策（総論）

感染症とは？

- ウィルスや細菌、真菌（カビ）、寄生虫などの微生物が、身体の中に入ることを「感染」と言います
- 感染の結果、起こった病気が「感染症」です
- 病気を起こした微生物のことを「病原微生物」または「病原体」と言います
- 病原微生物が人から人にうつっていくと流行が起こります
- 大勢の子どもが集まる事業所は感染症の流行が生じやすい場所です

感染症の5つのルート

①飛沫感染

咳やくしゃみで飛び出した病原体を含んだ飛沫（唾液や鼻水など）を近距離で吸い込むことによって感染する

→2メートル以内になると特に感染しやすい

例) インフルエンザ・いわゆる風邪など

→**新型コロナウイルスも**

②空気感染

咳やくしゃみで飛び出したウイルスや細菌などが空中をふわふわと漂い、それを吸い込むことによって感染する

→①よりも漂うので、流行しやすい

例) 麻疹・風疹・水痘・結核など

感染症の5つのルート

③接触感染

病原体が付着した手指で、目・鼻・口等に触れることにより、病原体が侵入して感染する

→ドアノブやつり革、PCのマウスなど

例) 流行性角結膜炎 (はやり目) ・とびひなど

→**新型コロナウイルスも**

④経口感染

汚染された食物や手指を介して口から病原体が入ってくる

例) ノロウイルス・ロタウイルス・食中毒など

汚染された食物や手指を介して口から病原体が入ってくる

⑤血液感染

血液中の病原体が、傷や粘膜などから体に侵入して感染する

例) B型肝炎・C型肝炎・HIVなど

感染症対策の3つの視点

1. 病原体の発見と消毒（滅菌）

→消毒と滅菌どう違うの？

①消毒

病原体を殺し感染を防止すること。100%の細菌を殺すことにはならない

方法) 焼却・煮沸・日光・紫外線・蒸気・薬物などがある

②滅菌

熱・薬等によって無菌状態を作り出すこと。細菌等が完全に、100%存在しない状態になること

感染症対策の3つの視点

2. 感染経路を断つ

①飛沫感染・空気感染

咳エチケットと手洗いが重要

マスクは感染した人がつけるもの

(市販のマスクは病原体が通り抜けてしまう→
予防効果は低い！)

ハンカチなどは家族でも共用しない

では、なぜ新型コロナウイルスではみんなマスクをつけるの？

飛沫の特徴

- 飛沫は前に飛びます
- 会話でも 1 m以上飛びます
- 飛沫を飛ばす人の前に立たないことが大切
- でも、食事会では横の人が危険と言われたけど??
- マスクは飛沫を防ぎます
- フェイスシールドの役割は?
- マウスシールドって効果あるの?

他人への感染を防ぐため、咳エチケットを行いましょう。

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう



① マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

鼻から顎までを覆い、隙間がないようにつけましょう。

① マスクがない時



② ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

ティッシュ:使ったらすぐにゴミ箱に捨てましょう。
ハンカチ:使ったらなるべく早く洗いましょう。

① とっさの時



③ 袖で口・鼻を覆う

マスクやティッシュ・ハンカチが使えない時は、袖や上着の内側で口・鼻を覆いましょう。

こまめに手を洗うことでも病原体が拡がらないようにすることができます。

感染症対策の3つの視点

2. 感染経路を断つ

②接触感染

とにかく、きちんとした手洗いを！

→手指のだけでなく、手首の上まで石鹼で泡だてて、流水下で洗浄する

→手を拭く時はペーパータオルを！

→石鹼は液体石鹼を！

さあ、みんなで^て手をあらおう!!

①

水で手を
ぬらして



②

せっけんを
手にとって



③

あわ立て
ブクブク



④

手のこう
モミモミ



⑤

ゆびのあいだ
モミモミ



⑥

おやゆび
クルクル



⑦

手のひら・ゆびのさき
ゴシゴシ



⑧

手くび
クルクル



⑨

しっかり
ながして



⑩

きれいに
ふいて
ピッカ
ピッカ



感染症対策の3つの視点

2. 感染経路を断つ

②接触感染

普段の清掃のポイント！

- ・床、壁、ドアなどは水拭きでOK
- ・多くの人の手が触れるドアノブ、手すり、ボタン、スイッチなどは、水拭きした後に、1日1回の消毒（消毒用エタノールなど）も行うことが望ましいです

感染症対策の3つの視点

3. 感染する可能性のある人を減らす

予防接種（ワクチン）が有効！

・ 10月に入ったら、インフルエンザのワクチンをお勧めしてください

・ 職員の予防接種も大切です！

→水痘・麻疹・風疹・インフルエンザ・おたふく・B型肝炎は是非行っていただきたいです

（事業所での集団感染のきっかけの多くは職員です）